



2022年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年3月4日

上場会社名 株式会社 ラクーンホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3031 URL http://www.raccoon.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 今野 智 TEL 03-5652-1711
 四半期報告書提出予定日 2022年3月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

1. 2022年4月期第3四半期の連結業績（2021年5月1日～2022年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第3四半期	3,519	8.4	939	△12.1	834	△13.0	823	△13.9	296	△52.9
2021年4月期第3四半期	3,246	28.2	1,068	68.6	959	82.0	956	80.6	630	86.4

(注) 包括利益 2022年4月期第3四半期 296百万円 (△52.9%) 2021年4月期第3四半期 630百万円 (86.4%)

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額 (+持分法による投資利益)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第3四半期	13.35	13.30
2021年4月期第3四半期	29.18	28.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年4月期第3四半期	12,712	5,294	41.2	235.50
2021年4月期	12,452	5,342	42.6	239.23

(参考) 自己資本 2022年4月期第3四半期 5,231百万円 2021年4月期 5,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	-	8.00	-	9.00	17.00
2022年4月期	-	10.00	-	-	-
2022年4月期（予想）	-	-	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年4月期の連結業績予想（2021年5月1日～2022年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,759	9.0	1,230	△8.2	1,090	△8.9	1,080	△11.3	440	△45.1	19.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年4月期3Q	22,361,043株	2021年4月期	22,361,043株
② 期末自己株式数	2022年4月期3Q	147,616株	2021年4月期	163,668株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年4月期3Q	22,210,250株	2021年4月期3Q	21,591,827株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日に開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年5月1日～2022年1月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率の向上などにより、徐々に制限が緩和され、経済活動正常化への期待感が見られましたが、オミクロン株の急激な感染拡大によるまん延防止等重点措置が一部の都道府県で再度発出されたことや、原油価格の上昇など経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「企業活動を効率化し便利にする」を経営理念に掲げ、各企業間取引のインフラサービス事業の事業規模拡大に努めてまいりました。当第3四半期連結累計期間は、国内経済がRe-Openingしたことで国内の企業間取引は回復傾向となりました。一方で、年明けから、オミクロン株の感染拡大が始まり、まん延防止等重点措置が全国各地で適用されたことで、再び国内経済が停滞する懸念が生じる事態となりましたが、EC事業、フィナンシャル事業ともに増収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,519,955千円（前年同期比8.4%増）となりました。

費用面におきましては、今期もプロモーションの強化を継続していることにより広告宣伝費が前年同期比37.9%増、人員増強により人件費が9.1%増となったことで販売費及び一般管理費は前年同期比15.0%増となりました。この結果、EBITDA 939,410千円（前年同期比12.1%減）、営業利益834,793千円（前年同期比13.0%減）、経常利益823,786千円（前年同期比13.9%減）となりました。なお、一部投資先の業績不振に伴い第2四半期に投資有価証券評価損325,750千円を特別損失として計上しております。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益296,616千円（前年同期比52.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①EC事業

EC事業の主力事業である「スーパーデリバリー」は、新規会員獲得数の増加と客単価の向上により流通額を増加させていくことに取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間におきましてはB2Bのデジタルシフトを背景とした需要を積極的に取り込んでいくために、認知度の向上及び顧客獲得数の増加を目的としたプロモーションを強化しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末における「スーパーデリバリー」の会員数は261,011店舗（前期末比40,900店舗増）、出展企業数は3,083社（前期末比450社増）、商材掲載数は1,418,743点（前期末比39,166点減）となりました。

当第3四半期連結累計期間は国内経済が回復傾向となった一方で、年明けよりオミクロン株の感染拡大によりまん延防止等重点措置が全国各地で適用されたことで不透明な状況に転じました。このような状況下においても、国内流通額は、購入者数、客単価とも増加したことで順調に成長いたしました。ただし、前第3四半期連結累計期間においてコロナ特需商材の恩恵を受けて流通額が急拡大していた影響により、前年同期比は0.9%減となりました。なお、特需商材であるマスク・除菌グッズを除いた国内流通額の前年同期比は8.3%増となりました。海外流通額は、コンテナ不足や原油価格の高騰など国際物流の混乱の影響のある中で、北米が引き続き順調な成長を継続いたしました。一方で流通額の比率の高い中華圏において選挙や旧正月といった一時的な影響により購入客数が減少したことで、四半期ベースの流通額は横ばいとなった結果、海外流通額は前年同期比42.9%増となりました。

この結果、EC事業の売上高は2,171,840千円（前年同期比7.6%増）、費用面においては、引き続き積極的なプロモーション展開を実施しており広告宣伝費は前年同期比26.0%増となりました。また、事業拡大に伴う人員増強により人件費は前年同期比10.8%増となりました。これにより、セグメント利益は844,912千円（前年同期比3.5%減）となりました。

②フィナンシャル事業

「Paid」におきましては、加盟企業数は引き続き順調に増加し4,400社を超えました。当第3四半期では、2021年11月より、株式会社オートバックスセブンが展開する全国のオートバックスグループ店舗の決済手段として導入されました。また、引き続き、獲得した加盟企業の稼働率の向上と売上企業単価を増加させることに取り組んでおります。当第3四半期連結会計期間においては、国内経済が回復傾向となったことで加盟企業の取扱高が増加し、グループ外の取扱高は18,493,083千円（前年同期比18.7%増）、全体の取扱高（グループ内の取扱高6,573,095千円を含む）は、25,066,178千円（前年同期比11.4%増）と二桁成長となりました。

「保証」におきましては、「T&G売掛保証」、「URIHO」では、引き続き地方銀行等との業務提携に積極的に取り組み、提携数は順調に増加いたしました。売掛保証サービスの需要は依然として高く、特に「URIHO」の稼働企業数が引き続き順調に増加いたしました。

「家賃保証」におきましては、引き続き、事業用家賃保証、居住用家賃保証ともに不動産会社に対する知名度向上に取り組まれました。従前より付帯サービスとして提供している弁護士無料相談サービスの対象を家主にも拡大するなど利便性の向上にも努めました。

当第3四半期連結会計期間末の保証残高は、91,708,648千円（株式会社ラクーンフィナンシャル分27,656,974千円、株式会社ラクーンレント分64,051,674千円）と前期末比8.7%増（前期第3四半期比11.9%増）になりました。この結果、フィナンシャル事業の売上高は1,519,215千円（前年同期比7.9%増）となりました。費用面においては、若干保証履行額の発生の増加傾向が続いていますが、売上原価率はコロナ前よりも低い水準を継続しております。積極的なプロモーション展開を実施する方針は継続しており広告宣伝費は前年同期比86.9%増となりました。また、事業拡大に伴う人員増強により人件費は前年同期比10.1%増となりました。この結果、セグメント利益は333,236千円（前年同期比21.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より260,250千円増加して12,712,434千円になりました。流動資産は492,903千円増加して10,365,645千円になりました。増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加した影響により現金及び預金が321,942千円増加したこと、取引の増加に伴い売掛金が225,770千円増加したことによるものです。固定資産は232,653千円減少して2,346,789千円になりました。減少の主な要因は、投資有価証券が投資有価証券評価損の計上等により292,385千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より308,179千円増加して7,418,088千円になりました。流動負債は444,804千円増加して6,303,967千円になりました。増加の主な要因は、未払金が521,223千円減少したこと、未払法人税等が136,539千円減少した一方で、取引の増加に伴い買掛金が1,180,906千円増加したことによるものです。固定負債は136,625千円減少して1,114,120千円になりました。減少の主な要因は長期借入金が返済により133,749千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は47,929千円減少して5,294,346千円になりました。減少の主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益296,616千円の計上により利益剰余金が増加した一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が424,856千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年12月2日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,817,162	5,139,104
売掛金	4,882,133	5,107,903
求償債権	48,320	52,593
貯蔵品	259	260
前払費用	206,871	129,720
その他	71,663	139,131
貸倒引当金	△153,669	△203,069
流動資産合計	9,872,741	10,365,645
固定資産		
有形固定資産		
建物	622,859	622,859
減価償却累計額	△63,438	△81,180
建物(純額)	559,420	541,678
工具、器具及び備品	55,164	44,630
減価償却累計額	△36,279	△25,396
工具、器具及び備品(純額)	18,884	19,234
土地	882,140	882,140
有形固定資産合計	1,460,445	1,443,053
無形固定資産		
ソフトウェア	191,348	184,857
ソフトウェア仮勘定	27,526	67,639
のれん	243,128	218,542
その他	1,777	1,521
無形固定資産合計	463,780	472,560
投資その他の資産		
投資有価証券	433,898	141,513
敷金及び保証金	11,263	11,271
繰延税金資産	196,877	263,429
その他	13,177	14,960
投資その他の資産合計	655,216	431,174
固定資産合計	2,579,442	2,346,789
資産合計	12,452,184	12,712,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,178,065	5,358,972
1年内返済予定の長期借入金	220,006	178,332
未払金	674,055	152,832
未払法人税等	175,425	38,885
保証履行引当金	80,668	95,038
賞与引当金	75,484	33,665
株式給付引当金	44,532	8,910
販売促進引当金	19,770	17,790
預り金	9,858	26,392
その他	381,294	393,148
流動負債合計	5,859,162	6,303,967
固定負債		
長期借入金	1,198,336	1,064,587
資産除去債務	1,035	1,042
その他	51,375	48,491
固定負債合計	1,250,746	1,114,120
負債合計	7,109,908	7,418,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,852,237	1,852,237
資本剰余金	1,514,092	1,514,092
利益剰余金	2,443,083	2,314,843
自己株式	△499,076	△449,857
株主資本合計	5,310,337	5,231,316
新株予約権	31,938	63,029
純資産合計	5,342,275	5,294,346
負債純資産合計	12,452,184	12,712,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
売上高	3,246,010	3,519,955
売上原価	477,418	605,592
売上総利益	2,768,592	2,914,362
販売費及び一般管理費	1,808,967	2,079,568
営業利益	959,625	834,793
営業外収益		
受取手数料	3,556	2,376
投資事業組合運用益	14,319	—
その他	3,254	743
営業外収益合計	21,130	3,120
営業外費用		
支払利息	8,931	4,506
支払手数料	9,572	4,189
投資事業組合運用損	—	4,952
租税公課	4,892	90
その他	743	390
営業外費用合計	24,140	14,128
経常利益	956,614	823,786
特別損失		
投資有価証券評価損	—	325,750
事務所移転費用	10,856	—
特別損失合計	10,856	325,750
税金等調整前四半期純利益	945,758	498,036
法人税等	315,626	201,419
四半期純利益	630,131	296,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	630,131	296,616

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日)
四半期純利益	630,131	296,616
四半期包括利益	630,131	296,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,131	296,616

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年5月1日至2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,017,578	1,228,432	3,246,010	—	3,246,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	180,163	180,163	△180,163	—
計	2,017,578	1,408,595	3,426,173	△180,163	3,246,010
セグメント利益	875,659	425,447	1,301,107	△341,482	959,625

(注) 1. セグメント利益の調整額△341,482千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年5月1日至2022年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,171,840	1,348,114	3,519,955	—	3,519,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	171,101	171,101	△171,101	—
計	2,171,840	1,519,215	3,691,056	△171,101	3,519,955
セグメント利益	844,912	333,236	1,178,149	△343,355	834,793

(注) 1. セグメント利益の調整額△343,355千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。